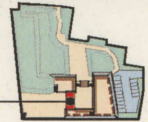


甲府市歴史公園築造工事 市民現場見学会

■山手渡櫓門の左官仕上工事の概要

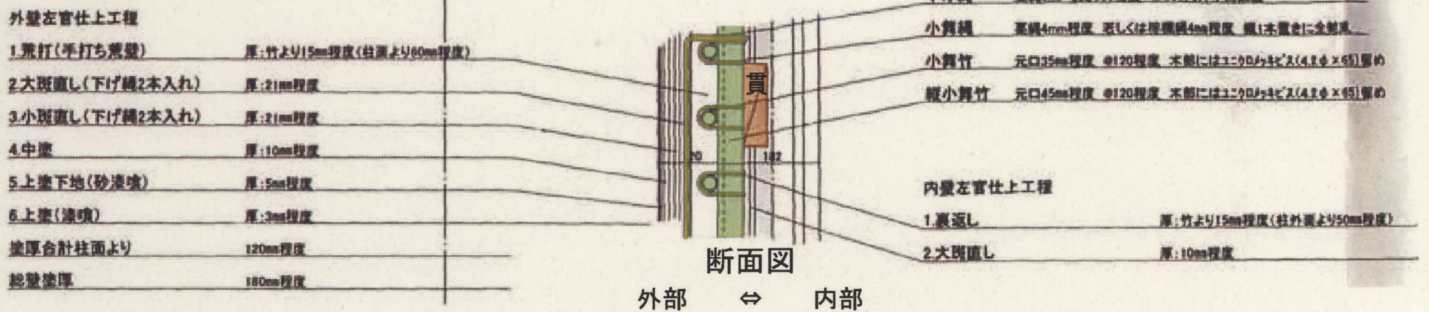
山手渡櫓門



山手渡櫓門の壁は、昔ながらの左官工事によって行なわれております。(やまのてわたりやぐらもん)

現場では、中塗(なかぬり)を乾燥させている状況を見ることができます。

下の図は、壁の構造をあらわした断面図です。



小舞の上から土を付け、仕上げに入ります。小舞に直接土をつけたものを荒壁といいます。その後下げ縄を塗り込みながら、2回以上斑(むら)を直します。そして中塗りを施します。じゅうぶん乾かした後、外部は、その後、砂漆喰(しつくい)を塗ったあと、白漆喰で最終的にキレイに仕上げます。現在は最終仕上げの白漆喰を塗る直前の段階です(写真左下)。内部は中塗りで止めて、その上に板を張ります。



外壁小斑直し状況



外壁中塗り状況



外壁砂漆喰仕上がり状況



窓廻り砂漆喰仕上がり状況